

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和5年2月10日

独立行政法人水資源機構
筑後川局 平山 周作

1. 目的

この歩掛参考見積の依頼は、筑後川局管内で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を依頼するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和3・4年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、筑後川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な技術者、資機材の人数等を記載して提出して下さい。
なお、参考見積書の様式は問いません。
提出期間：令和5年2月10日（金）から令和5年2月17日（金）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
- (2) 提出先
独立行政法人水資源機構 筑後川局 平山 周作 宛
【担当】総務課 石田、佐藤
〒830-0032 福岡県久留米市東町42-21 日本生命久留米駅前ビル4F
TEL 0942-34-7001 FAX 0942-37-8386
- (3) 提出方法
書面は持参、郵送又はファクシミリ（社印があること）により提出するものとします。

4. 参考見積内容

- (1) 作業項目及び作業内容
業務内容の詳細については、別紙-1に示す業務内容について、別紙-2の項目毎に必要な技術者の員数を検討ください。
- (2) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲
 - ① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（調査等編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。
 - ② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、上記（1）「作業項目、作業内容」を実施する為に必要な技術者、資機材の人数等を徴取します。

③見積の有効期限は、令和6年3月31日まででお願いします。

(3) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和4年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 依頼書に対する質問

この依頼書に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

- (1) 提出期間：令和5年2月10日(金) から令和5年2月14日(火) まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
- (2) 提出場所：2. (2) に同じ。
- (3) 提出方法：2. (3) に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：令和5年2月16日(木) から令和5年2月17日(金) まで
- (2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. その他

- (1) この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。
ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。
- (2) 提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

—以 上—

粉塵・騒音振動等調査業務（仮称）

第 1 節 業務目的

本業務は、筑後川局管内の環境調査の一環として、粉塵・騒音振動調査及び交通量調査を実施するものである。

第 2 節 業務内容

2-1 計画準備

受注者は、調査に先立ち、調査の内容を十分検討したうえで、的確な調査が実施できるよう業務計画を立案し、業務計画書を作成するものとする。

2-2 現地調査

受注者は、各調査地点の詳細な状況を把握するため、調査に先立ち、現地調査を行うものとする。

2-3 粉塵調査

1. 別表に示す期間において、ダストジャーを用いた降下ばいじん量及び風向・風速の測定を行う。調査時期、期間及び調査方法は下表のとおりとする。なお、降雨等による捕集試料の流出がないよう留意するとともに、測定期間中に1回以上の点検を行うものとする。

調査項目	調査時期	調査期間	測定高さ
降下ばいじん量	4季	1ヶ月/季節	地上1.5m
風向・風速	(春季、夏季、秋季、冬季)	1週間/季節	原則として地上10m

2. ダストジャーの捕集瓶内に集積した試料を用いて、溶解性物質総量、不溶解性物質総量の測定を行うものとする。溶解性物質及び不溶解性物質の分析については、「衛生試験法・注解2020」によるものとする。
3. 風向・風速については、季節別の風配図及び風向別・風速別の出現頻度等の整理を行う。

2-4 騒音振動調査

1. 別表に示す期間において、施設の工事及び工事用車両の運行に係る騒音及び振動の測定を行う。調査時期は秋季の平日及び休日に各 1 日（24 時間）とする。詳細な日程は、監督員と協議のうえ決定するものとするが、天候等により日程変更を指示する場合がある。
2. 騒音測定は「JIS Z 8731(騒音レベル測定方法)」によるものとし、騒音計の時間重み特定は早い動特性（F 特性）、周波数重み特性は A 特性とする。測定結果は、90%レンジの上端値(L_{A5})、中央値(L_{A50})、90%レンジの下端値(L_{A95})を算出するものとし、影響要因が施設の工事によるものは等価騒音レベル(L_{Aeq})も合わせて算出するものとする。
3. 振動測定は「JIS Z 8735(振動レベル測定方法)」によるものとし、振動感覚補正

特性は鉛直振動特性とする。測定結果は、80%レンジの上端値(L_{10})を算出するものとする。振動ピックアップの設置位置は、影響要因が施設の工事によるものは住居の敷地境界とし、工事用車両の走行によるものは官民境界（道路端）上で実施するものとする。

4. 騒音、振動とも、測定対象に含まない除外音（振動）を削除したのち、「騒音に係る環境基準」、「騒音規制法」、「振動規制法」に定められた時間帯区分ごとの値を整理するものとする。
5. 受注者は、測定結果を整理し、調査結果（速報）を速やかに監督員に報告するものとする。

2-5 交通量調査

1. 別表に示す期間において、自動車交通量、走行速度、道路条件（道路断面構造、法定速度等）、地表面の種類、地盤卓越振動数の調査を行う。自動車交通量及び走行速度の調査時期は秋季の平日及び休日に各1日（24時間）とする。詳細な日程は、監督員と協議のうえ決定するものとするが、天候等により日程変更を指示する場合がある。
2. 測定断面を通過する方向別車種別の交通量を時間別に計測するものとし、通行車両区分は大型車（バス、普通貨物、特殊車）、小型車（大型車以外）の2車種区分とする。
3. 地盤卓越振動数は、大型車単独走行時の地盤振動を1/3オクターブバンド分析器により周波数分析し、中心周波数を求めるものとする。測定ケース数は10ケースとし、全ケースからの平均値を求めること。
4. 調査終了後、時間別、方向別、車種別の交通量を整理し、調査結果（速報）を速やかに監督員に報告するものとする。

2-6 報告書作成

業務の目的を踏まえ、業務の各段階で作成された成果をわかりやすくまとめた報告書を作成する。

以上

別表（予定数量）

区分		地点数	調査項目	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
粉塵調査	施設の工事	3地点	降下ばいじん量 風向、風速	←→		←→			←→			←→			降下ばいじん量：季節ごとに1ヶ月 風向・風速：季節ごとに1週間
	工事用車両の 走行	3地点	降下ばいじん量 風向、風速	←→		←→			←→			←→			
		5地点	降下ばいじん量	←→		←→			←→			←→			
騒音・ 交通量 振動調査	施設の工事	3地点	騒音レベル 振動レベル						←→						秋季の平日及び休日各1日(24時間)
	工事用車両の 走行	8地点	騒音レベル 振動レベル 交通量調査						←→						秋季の平日及び休日各1日(24時間)

(別紙-2)見積項目

1. 歩掛

工種	細別	単位		編成							備考	
				測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	普通作業員	軽作業員		
計画準備		式	内業									
現地調査		式	内業									
粉塵調査	降下ばいじん量	地点・回	内業 外業								設置・撤去・点検、データ整理に要する歩掛 調査期間1ヶ月/回	
	風向・風速	地点・回	内業 外業								設置・撤去・点検、データ整理に要する歩掛 調査期間1週間/回	
騒音調査	施設の工事	地点	外業								1地点を実施する上で、必要な 班編制	
			内業								データ整理に要する歩掛	
	工事用車両の走行	地点	外業								1地点を実施する上で、必要な 班編制	
			内業								データ整理に要する歩掛	
振動調査		地点	外業								1地点を実施する上で、必要な 班編制	
		地点	内業								データ整理に要する歩掛	
交通量調査		直線道路	地点	外業							1地点を実施する上で、必要な 班編制	
				内業								データ整理に要する歩掛
		T字交差点	地点	外業								1地点を実施する上で、必要な 班編制
				内業								データ整理に要する歩掛
		十字交差点	地点	外業								1地点を実施する上で、必要な 班編制
				内業								データ整理に要する歩掛
報告書作成		式	内業									

2. 分析、機材単価

以下の項目の単価の見積りをお願いします。

- ①溶解性物質 1検体あたり
- ②不溶解性物質 1検体あたり
- ③ダストジャー 台・月
- ④風向風速計 台・週